

月日	時間	研修内容等
7 月 3 日 (火)	9:40 ~ 10:00	研修オリエンテーション 担当指導主事
	10:00 ~ 12:00	講義 「『対話型』社会科授業の考え方」 【講師】文部科学省 教科調査官 安野 功
	13:00 ~ 15:00	講義・演習 「『対話型』社会科授業の作り方」 【講師】文部科学省 教科調査官 安野 功
	15:00 ~ 16:00	講義 「今後求められる社会科の方向性」 【講師】文部科学省 教科調査官 安野 功
	16:00 ~ 16:10	事務連絡 担当指導主事



【講義の様子】



【演習の様子】



【演習の様子】

#### 受講者の声

対話型社会科について具体的に話をしていただいたので、イメージをもつことができました。研究者タイプの授業を自分自身よくやっているなと感じました。whyからhowの疑問への転換が必要と感じました。

具体的なレベルでの講話、理論的な側面での指摘等、学ぶことが多く、かつ、おもしろかったです。学校（地区）の研究に是非持ち帰りたいと思います。

校内研究のテーマに近いので、ぜひ、この講座を受けたいと思いました。初歩的な事（なぜ、社会科学習で対話活動を取り入れるのか）から、具体的な演習まで、明日の学級にすぐ実践できそうな内容でした。自分だけでなく、社会部の他の先生方にも伝えたいと思います。

講義も演習も時間配分はとてもよかったと思う。実際、演習の時間も十分とられていて時間的にしっかりと考えることができた。

最後に、「社会科は軽視されていない」と断言していただいたことは、とても心強いものでした。よろしくお伝え下さい。方向性としての社会科が見えてきました。ネタも参考になりました。